

2010
April

vol.
40

The Marian

京都ノートルダム女子大学 同窓会 会報

- 第45回総会報告
- 支部・地区・同期会だより
- アクティビティー案内
- マリアンハウス活動案内
- 大学便り
- 第46回総会案内



同窓会館 マリアンハウス

「ごあいさつ」



会長 吉川 みづほ (1E)

ご卒業されてから、母校にいらっしゃる機会はいまだにありませんでした。母校訪問の機会には、ホームカミングデーだけでなく、大学祭、物故者追悼ミサ、ノートルダムクリスマス、卒業式、又、各学部やセンター主催の講演会など年間を通じてあります。みなさんが気軽に大学にも足を向けて下さることを願っております。

さて、2010年3月に46期生を迎え、同窓会の会員数は1万2千余名になりました。活動の場もマリアンハウスを中心に、関東支部、中部支部、北陸、和歌山、中国四国、山陽、山陰、九州沖縄の各地区へと広がっております。活動内容もNDならではの語学や教養講座、バザーなどのボランティア活動と充実しております。是非、お近くの支部、地区、マリアンハウスの活動にご参加下さい。「友情を育む場」「母校との繋がりを深める所」「生涯教育や自己開発の機会」として同窓会を活用していただけると存じます。

私達は「神から与えられた私らしさー知力、体力、人間性ーを自分の為だけでなく、社会や周囲の人々の幸せの為に活かすように」という教育を受けていますが、同窓会は卒業後もその教えを実行できる場だと思います。私は皆様に本部、支部、地区の役員やマリアンハウスのスタッフに積極的に加わって頂き、先輩、同級生、後輩、母校の為にND精神を大いに発揮して下さいを期待しております。

京都ノートルダム女子大学の卒業生として、皆様は世間の人々に大学の素晴らしさをもっと知ってほしいと思っておられるのではないのでしょうか。折りに触れ、時に触れ、母校の大学について語り、伝えたいものです。

京都ノートルダム女子大学のホームページに同窓会活動の最新情報を掲載しております。同窓会へのご意見、アイデア、感想、役員やスタッフとして活躍して下さる方々は是非マリアンハウスにご連絡ください。

最後になりましたが、国際交流マリアン奨学金募金に多くの方からご協力頂き、有り難うございました。今後も継続できますよう、よろしくお願い致します。

京都ノートルダム女子大学創立50周年記念募金へのご協力お願い

京都ノートルダム女子大学は、2011年に創立50周年を迎えます。その記念事業として校舎の建て替えを含む抜本的な整備(詳しくは趣意書をご覧ください)が始まります。同窓会といたしましても、母校のさらなる発展の為に最大限の協力をさせて頂きたいと存じます。社会は景気が不安定な中にありますが、学年委員さんとも連絡をとりつつ、募金活動をおこないたいと存じますので、皆様の寛大なご協力を切にお願い申し上げます。

<平成 21 年度本部役員>

会長	吉川みづほ 1E (川 村)
副会長	中井 恭子 12E (塚 本)
	中島 克子 1E (長谷川)
会計	麻田 佳代 17E (大 林)
	堀野 倫子 22E (中 村)
書記	山下 郁子 21E (尾 崎)
	中小路理恵 21C (竹 原)
庶 務(広報)	家村 悦子 4E (上登野)
	滝田 洋子 17E (泉)
庶 務(名簿)	大西 紀子 19C (青 木)
	堀田佳津栄 12E (小 川)
マリアンハウス運営委員会	瀧井 優子 23C (藤 井)
	北谷貴代子 23C (堀 部)
会計監査	林 満智子 3E (寺 田)

昨年度総会で承認を受けました庶務の奥山典子さんが事情で辞退されましたので、代わって家村悦子さんをお願いいたしました。ご追認の程お願いいたします。

目 次 会報「マリアン」第40号

- 01 会長挨拶／本部役員紹介
- 02 「ご挨拶」名誉顧問 学長 藪内稔
「ごあいさつ」顧問 東朝子
- 03 第45回総会報告
- 04 会計報告
- 05 お知らせ
- 06 留学生日帰りツアー報告
- 07 支部だより
- 08 地区だより
- 09 同期会報告
- 10 同期会報告
- 11 会員だより
- 12 アクティビティー案内
- 13 マリアンハウス運営委員会案内
- 14 ボランティア人材登録のお願い 会員だより
- 15 大学便り
- 16 大学便り
- 17 シスターセリオン寄稿「薫り高き学士誕生」
- 18 第46回総会案内
祝周年 (1・6・11・16・21・26・31)

「ご挨拶」

北山キャンパス整備計画についてのご報告とお願い

学 長 藪内 稔
名誉顧問



同窓会の皆様におかれては、大学北山キャンパス設立計画について何かとご期待あるいはご心配をおかけしていることと存じます。現段階での状況について、学長として同窓会の皆様にご報告させていただくとともに、ご理解をお願いしたいと思います。

新体制になった学校法人ノートルダム女学院では、懸案であった北山キャンパス（大学及び小学校）計画推進について、「北山キャンパス計画推進特別委員会」（大学学長は法人理事及び委員）を立ち上げ、その下部組織として、隣接する大学側と小学校側の具体的計画案の協議をおこなう大学・小学校・法人部で構成される「合同委員会」を置いています。大学においては、悲願であったキャンパス設立総合整備事業を創立50周年記念事業の中心に位置付け、新たに設立した「大学創立50周年事業委員会」の小委員会として「北山キャンパス整備事業小委員会」を立ち上げ、そこで具体的に協議を鋭意展開し、その結果を法人「合同委員会」及び「特別委員会」に挙げています。

現在、「特別委員会」の審議、「評議員会」の議決を経て、「理事会」において決定している大学側の北山キャンパス総合整備計画は、大学側の策定通り、①ユーゲニア館（本館）建替 ②学内寮を含む複合教育施設建設 ③ソフィア館全面改修 ④テレジア館耐震工事 ⑤ユーゲニア館（本館）建替工事期間に使用する本学校舎の京都工芸繊維大学内建設、であり着実に進行中です。

昨年末、同窓会会館を大学敷地内に設立したいという趣旨の要望を、同窓会幹部の方からお聞きしています。しかし、進行中の計画変更、とりわけ教育研究施設でない建造物の設置について学長が独断で決められることはありません。しかしながら、同窓会、および卒業生の皆様のお力は、大学にとって掛け替えのない大切な宝であります。学内寮を含む複合教育施設内に設けるなど、なんとかしてご要望にお応えできる方策はないものかと、学長執行部において鋭意検討中であり具体的プランもいくつか纏まりつつあることをご理解いただきたいと思います。

（平成22年1月12日現在）

「ごあいさつ」

顧問 東 朝子



皆様お元気でいらっしゃいますか？

ご承知のように、大きな社会環境の変化で、問題を抱えた学生たちが多く本学にもおります。キャンパスミニスターとして、心の拠り所を求める学生たちに、どのようなことが必要なのか模索の毎日です。

キャンパスミニストリー室は本来、学生の司牧活動の場ですが、あまり宗教的色合いの濃い行事やサークル活動にはなかなか学生が集まりません。何となく気楽にいられる場所や楽しい場所が必要なようです。週1回昼休みに東チモールのコーヒーを1杯50円で提供するカフェを開き、ハロウィンやクリスマスのパーティーもしました（もちろんパーティーの前にはチャペルの祈りを忘れません）。

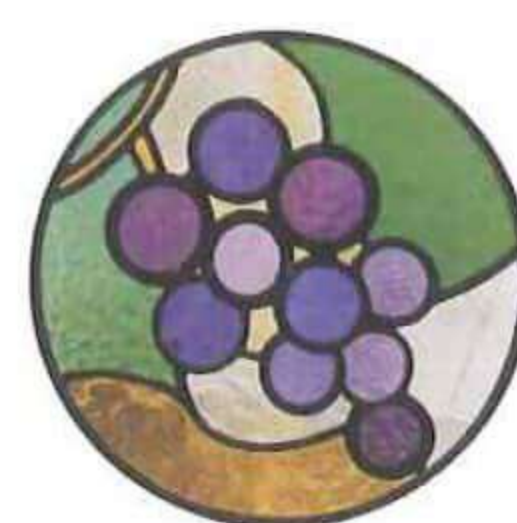
2008年度から始まったシスターズラウンジも今年は賑わっています。図書館棟1階受付の非常に狭い部屋ですが、11時半から13時半まで、シスターが2名滞在しています。

月例ミサでは、誕生日を迎える学生や教職員のためにお祈りをし、ささやかなプレゼントも用意し、少しずつ参加人数も増え、チャペルの活用度が上昇しつつあります。

シスターが少なくなった今、カトリックの雰囲気できるだけ学生たちに提供したいと努力しております。

皆様も機会があれば、ぜひ本学へ足をお運びくださいませ。

Christ, who is
Life and Love



（大学チャペルのステンドグラスより）

第45回総会報告

祝周年学年の皆様おめでとうございます。



平成 21 年 5 月 31 日 (日) 第 45 回同窓会総会がグランドプリンスホテル京都にて開催されました。

学長、理事長、先生方をはじめ、シスター方や懐かしい同窓生約 120 名が集いました。

学歌斉唱のあと、帰天された恩師や同窓生のご冥福を祈り、心を込めて黙祷を捧げました。会長挨拶から始まり活動報告、会計報告、予算案の承認、チャリティーバザー収益金からの各団体への支援金、献金贈呈へと議事が進み、更に今年度から二年間新たに推薦された吉川みづほ会長の承認に続き、新会長の挨拶と新役員の紹介がありました。また関東支部、中部支部の各支部長から活動報告があり、次いで名誉顧問藪内学長、顧問東先生からそれぞれご挨拶を頂きました。最後に祝周年に当たる学年の方と来賓のシスター、先生方にバラの花を差し上げ、総会の部を終えました。

懇親会の部は、和田理事長による乾杯で始まり、来賓の先生方の紹介が行われ、賑やかに歓談しながらの会食が終わる頃にはエンターテインメントとして <Duo BOSMAR> のヴァイオリンとギターによるミニコンサートがあり、オリジナルにアレンジされた学歌の演奏には思わず引き込まれました。その後恒例のミキモト寄附による賞品やホテルからのクッキーなどが当たる抽選会で宴たけなわとなりました。

東先生指揮により、マリアンコーラスのメンバーを中心に出席者全員で「Magnificat」を輪唱したり、「歌のつばさ」や「シャローム」を合唱して会場全体が一つになり、和やかに華やかに名残を惜しみつつのお開きとなりました。

第 46 回の総会でまた再会出来ますことを楽しみにしております。

平成21年度 活動報告

- 5月** 第 45 回総会(グランドプリンスホテル京都)
関東・中部支部委員との合同ミーティング
国際交流マリアン奨学基金より留学生に奨学金授与
各クラス春季開講
- 6月** *能へのいざない
日文研 角屋もてなしの文化美術館
- 7月** 学年委員、アクティビティ責任者、
同窓会委員合同委員会
*暮らしに役立つ折り紙
- 9月** *バザー用品作り
日文研 伝統産業館 摺型友禅染体験
各クラス秋季開講
- 10月** マリアンハウスチャリティーバザー
大学祭「ホームカミングデー」参加
- 11月** 小学校、中高、大学三校同窓会委員会
関東支部同窓会出席
物故者追悼ミサ参列(ユニソン会館)
留学生日帰りツアー(宇治平等院・組紐体験)
*フラワーアレンジメント
日文研 トロッコ列車と保津川下り
- 12月** 「ノートルダムクリスマス」参加
- 1月** 各クラス冬季開講
日文研 新年会(京都ホテルオークラ)
- 3月** 三校同窓会委員会
同窓会新入会員への説明会
第 46 回大学卒業式列席
*シュガークラフトで作るベビーシューズ
日文研 源氏物語ミュージアム
- 4月** 平成 22 年度大学入学式列席
*ヨガ

注：*印はマリアンハウスプログラム
日文研は日本文化研究会の略



京都ノートルダム女子大学同窓会 平成 20 年度会計報告

収 支 報 告

自：平成 20 年 4 月 1 日
至：平成 21 年 3 月 31 日

収 入 の 部		支 出 の 部		
費 目	決 算 額	費 目	予 算 額	決 算 額
前年度繰越金	59,716,648	総 会 費	900,000	638,932
終身会費	10,710,000	マリアンスカラシップ	1,300,000	0
預金利息	112,534	マリアン発行費	3,000,000	2,522,798
マリアンスカラシップ返済金	397,095	卒業記念費	800,000	756,000
クラスアクティビティ受講料	308,500	クラスアクティビティ	1,200,000	850,000
雑収入	23,445	支部・地区活動 援助費	800,000	375,700
		同期会補助	200,000	47,810
		会 議 費	500,000	232,987
		交 際 費	400,000	321,019
		通 信 費	350,000	141,850
		事 務 費	150,000	104,623
		マリアンハウス運営費	2,600,000	1,768,146
		予 備 費	150,000	33,694
		小 計	12,350,000	7,793,559
		残 高		63,474,663
合 計	71,268,222	合 計		71,268,222

上記の通り決算報告
申し上げます。

会計 林満智子
宮澤紀恵

本決算を審査の結果、
収入支出いずれも適正
であることを認めます。

会計監査 吉田梨子
平成 21 年 4 月 20 日

寄付金の贈り先と額 (平成 21 年 4 月～ 22 年 3 月)

H21. 5	ネパール ノートルダム教育修道女会	¥100,000円
	ネパール イエズス会 (ラリグランスを通じて)	¥50,000円
H21. 12	NDクリスマス献金	¥10,000円
H22. 2	ハイチ地震救援金	¥100,000円
	3 チリ地震救援金	¥100,000円

チャリティーバザー、手芸ボラ
ンティア活動による収益金に加
えて有志の皆様の寄付によるも
のです。有難うございました。

マリアンスカラシップ 平成21年度は2名に貸与しました。

国際交流マリアン奨学金

同窓会は大学創立 40 周年を記念して外国人留学生を支援する目的で、平成 13 年国際交流マリアン奨学基金を設立しました。

平成 21 年度は、李星海さん(中国)人間文化学科 2 年次生に平成 21 年 5 月 31 日同窓会総会に於いて目録を授与(前期、後期¥120,000 ずつ計¥240,000)いたしました。

奨学基金のお願い

留学生のための奨学基金の残高が少なくなってきました。

留学生が将来、日本と母校の架け橋となれることを期待してできる限り支援を続けたいと思いますので皆様のご協力をお願い致します。

右記の専用口座に一口 1,000 円でお心のままにお振込み下さい。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	099
店名(カナ)	0九九店(ゼロキユウキユウ店)
預金種目	当座
口座番号	0157723
カナ氏名(注) (受取人名)	コクサイコウリユウマリアンシヨウガクキキン

国際交流マリアン奨学基金

「第7回留学生のための日帰りツアー」

2009年11月1日、今回は少し足をのばして宇治市を訪れました。留学生6名と役員5名の我々一行は先ず、世界遺産に認定されている「平等院」へ向かいました。10円硬貨と本物の鳳凰堂とを交互に見比べ歓声を上げ、ミュージアムでは様々な宝物類やCGを用いた映像展示に興味津々の様子でした。次は鳳凰堂に相對している事から名付けられたという「対鳳庵」で、裏千家のお茶席体験です。日頃は正座に慣れていない彼女たちも、この時ばかりは頑張って美しい作法を体験してくれました。お昼は「喜撰茶屋」で宇治茶料理を頂きながら「アルバイトはしているの?」「一人暮らしは寂しくない?」など役員からの質問に、皆さん上手な日本語で答えてくれ、話がはずみました。最後の「昇苑くみひも」では、あらかじめ選んでいた好みの色の絹糸を上手に組みあげて、ストラップとキーホルダーを完成させました。留学生達は、親元を離れ1人海外で勉強しようと言うだけあって、皆さん好奇心旺盛でパワフル、それでいて礼儀正しく素直な方ばかりでした。楽しい時間を共有することができ、とても良い思い出となりました。



同窓会ツアーに参加して



人間文化学部人間文化学科交換留学生

Pattanathanes Rungaroon

(パッタナタネス ルンアルン)

私はタイのチュラロンコン大学より1年間の交換留学生として京都ノートルダム女子大学に通っています。今回の同窓会主催の日帰りツアーに参加しました。案内してくださった同窓会の方々はとても話しやすく、宇治の名所の説明も分かりやすかったです。源氏物語に詠まれた宇治川を実際に見て、浮舟の気持ちをより分かるようになりました。そして、10円玉に描かれている平等院に行き、その後、宇治の名物の抹茶を味わい、美味しい京料理を食べることができました。また、午後からは京都の伝統的なくみひもを自分でつくる機会もありました。今回のツアーを通して、日本のこと、京都のことを学び、感動の多いものとなりました。



人間文化学部人間文化学科3年次生

徐 涇 (ジョケイ)

11月1日に同窓会の方々のご厚意で、宇治への日帰りツアーへ連れて行ってもらえました。私たち留学生はほとんど宇治へ行ったことがないので、この旅はわくわくしていました。

最初は世界遺産ともなっている平等院へいきました。この1000年前に建立された建造物や仏像が今までに伝えられ、本当に素晴らしいと思いました。宇治は宇治茶で知られる町ですので、今回はお茶の体験もできました。目の前でお茶を作って、飲んで、日本文化の体験を実感できたことがとてもありがたく感じました。

また、昇苑くみひも体験で京の伝統工芸に触れることもできました。みんなは糸を交差させるうち無心の境地になりました。1時間ほど手組みに没頭でき、すっきりしました。

今回の旅は本当に楽しかったです。日本の文化の「見る」「体験する」のは留学生にとって貴重な経験です。本当にありがとうございます。

支部だより

関東支部

関東支部長 村越 留美(16C)

京都ノートルダム女子大学の同窓生の皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

現在、約1,000名の会員がおります関東支部では、昨年11月15日の日曜日に、渋谷エクセルホテル東急にて関東支部同窓会を開催いたしました。京都より副学長でいらっしゃる小林順先生、シスターメリーベルナルド岩井、関東在住でいらっしゃる前学長の相良憲昭先生、河野真太郎先生、又、本部より吉川みづほ会長はじめ3名の役員の皆様にご出席下さいました。関東支部の会員も2期生から35期生まで幅広い年齢層の方々約70名が集まり、会場はなつかしい京都弁が飛び交っていた一時でした。同窓会では、小林順先生が2011年に50周年を迎える大学のこれまでの歴史から現在の様子までをインターネットとプロジェクターを使い講演して下さい、なつかしい大学、新しい大学を皆、興味深く聞き入っておりました。

遠く離れた関東の地で同窓生に会うことはほっとし、安心する一時です。これからも、関東支部は同窓生の輪をひろげるお手伝いをしていければと思っております。2010年度からは下記の17期の方々が運営して下さいます。本部の皆様、並びに関東支部の同窓生の皆様、2年間どうもありがとうございました。

2010年度関東支部役員紹介 (17期)

支部長：加藤 薫 (奥村)
副支部長：門田真理子 (磯田)
書記：京近 厚子 (茂籠)
三輪みどり (藤原)
米澤 知子 (吉川)
会計：清水真理子 (中山)
山口美保子 (芦田)



中部支部

中部支部長 藤沢 欣 (2E)

昨年は新型インフルエンザの流行で、みなさま何かと落ち着かない日々を過ごされたことと思います。今年は穏やかな良い年であってほしいですね。その流行にもかかわらず、わたしたち中部支部では親睦会を「ノリタケの森」で開催いたしました。その前夜から中部地方は、大荒れのお天気になり、近鉄の特急が不通になったにもかかわらず足を運んでくださったこと、また各地からお集まり下さった方々に感謝いたします。お蔭様でその日のお天気は徐々に回復に向かいました。「ノリタケの森」は、2001年、開業100周年記念に名古屋駅近くのノリタケ本社敷地内にオープンしました。ノリタケミュージアムや、アウトレットショップ、クラフトセンターでは陶磁器の絵付けを楽しむことができます。私達は、森のレストラン「キルン」で昼食をいただきながら団欒のひとときを過ごしました。

中部支部役員

支部長：藤沢 欣 (2E)
副支部長：杉浦木綿子 (4E)
書記：岡本 千秋 (22E)
会計：久保田恭子 (5E)
会計監査：仙田悠美子 (3E)



地区だより

和歌山地区

“Bloom where You're Planted.”

道本 美月 (22E)

みなさまお元気ですか？

和歌山地区同窓会も先輩方のご尽力で発足して早くも四年目を迎えました。昨年の総会からあっという間に一年が過ぎてしまい驚くばかりです。年とともに、時間のスピードが加速しているように感じるのは私だけでしょうか？

子どもの頃、忙しく立ち働く母の姿を見ながら、「もっとゆっくりすればいいのに。」

と感じていたのに、今では私自身が仕事に、家事に、子育てに、頭も身体もフル回転の毎日です。そんな中、同窓会でみなさまにお目にかかって親交を温めることは、私にとって心のビタミン剤となっています。次回の和歌山地区総会に向けて、微力ながら、持てる力を総動員してお世話させて頂きたいと思っております。

さて、私は縁あって九州から京都ノートルダムに学び、和歌山の地に根を下ろすことになりました。タイトルにさせて頂いた“Bloom where you're planted.”は大学卒業週間に拝聴した講話で贈られ、ずっと大切にしてきた言葉です。「あなた方が植えられた場所で、あなたらしい花を咲かせなさい。」

どうぞみなさま、それぞれが必要とされる場所で、ノートルダムの薫り漂う花を咲かせつつ、次回の再会を楽しみにいたしましょう。

北陸地区

菅井 郁子 (1C)



同窓生の皆様お変わりなくお過ごしですか。

第4回北陸地区ND同窓会を昨年秋に開催する予定でしたが都合で開催できなく残念でした。今年は、第4回北陸地区同窓会を開催いたしますのでぜひご参加ください。

日時：平成22年6月6日（日）11：00－14：30

会場：ホテル日航金沢「金沢駅前」

尚、気楽にお子様を連れてご参加くださいませ。詳しいことは後日葉書でお知らせいたします。皆様にお会いできるのを役員一同楽しみにしております。

何かご要望等ございましたら役員のほうまでお知らせください。

金沢地区：菅井 郁子 1C (藤井)

山田 るり子 7E (高瀬)

福井地区：長谷川まゆみ 2E (牧)

富山地区：猪原 千津子 8E (服部)

住駒 禎子 3E (北)

高村 隆子 20E (山崎)

九州・沖縄地区

坂本 佳枝 (1C)

前回の集会から三年ぶり秋深い行楽日和の11月8日、熊本城に近い熊本ホテルキャッスルにて開催いたしました。遠くは鹿児島、佐賀、福岡から、そしてまさに子育て真っ最中のママがお子様とともにご参加下さり、卒業生8名とお子様3名の少人数ではございましたが、思い出深い学生時代の話や仕事のこと、子供や孫のことなど、話題は尽きませんでした。和やかなうちに再会を約束してオヒラキとし、二次会の場所へと移動しました。二次会は昨年再建された熊本城本丸御殿の内部の見学を中心として熊本城を訪れ、御殿大広間の豪華絢爛なる造りを堪能しました。

広範囲の九州・沖縄地区ですが、参加者が少ない場合であっても開催地を考慮し皆様方にお声掛けし、いろいろなご意見を伺いながら続けたいと思います。

新世話役メンバーを紹介します。

勢一令子(12C) 江口由美子(19E) 藤井真佐美(19E) 石川敬子(41E)



同期会だより

4期 同期会

平成21年5月28日、ホテル嵐亭にて、4期生同窓会を開催いたしました。想定外の新型インフルエンザ流行ニュースの中、お招きしましたシスターお二人とで、28名が参加しました。卒後、41年振りの方にも再会。大変楽しい、絆を深めた有意義な同窓会でした。記念撮影後、新緑溢れる嵐山そのものが窓に迫る延命閣で、乾杯！京懐石料理に舌鼓を打ち、恩師の貴重なお話、各自の愉快的、前向きな人生の生き活きたスピーチに、拍手喝采！感動、納得、陽気な笑いで、和気藹藹。ティータイム後のカレッジソング合唱で閉会。恩師と同窓生の連帯感を集約した、美しいハーモニーと若さのある感激の合唱でした。名残惜しく、時間のある人はその後、談笑を楽しみました。

小野ゆかり（4E）



5期 40周年同期会

平成21年6月3日比叡山のお洒落になった「ロテル・ド・比叡」で開催しました。静かに流れるBGM。窓からパーっと広がる琵琶湖。瑞々しい青葉の樹々。居心地の良い空間をホテルは演出してくれました。

親の介護、孫の守り、仕事。話はいろんな方向へ自由に飛び、卒業以来の人も懐かしく、暖かいムードに包まれました。考えてみると、学生の頃の親の年齢をあっさり超えた今。自由に、ほんわかと4年間過ごさせてくれた親に「ありがたいことだった」と改めて気付きました。日頃はしんどい事もまだ多々ある63歳ですが、帰りのバス、ケーブルカーの中は学生の頃みたいに、皆元気いっぱいでした。

阪村道子（5E）



6期 同期会

2009年10月21日（水）秋晴の日に第6期同期会をTHE GARDEN ORIENTAL KYOTOにて開催致しました。出席者は26名でした。還暦もすぎ時間的にゆとりが出てきた今、旧交を暖めるため同期会を2年ごとに開催しています。一昨年もお会いした方、久しぶりにお会いする方、すぐに打ち解け『ワイワイガヤガヤ』と賑やかな事です。若返りのために西本さん（ダンス教師）にダンスの手ほどきを受けました。西本さん曰く「62歳とは思えない。覚えもよいしお若いわ!!」皆、気をよくし楽しく愉快的ひと時を過ごしました。

次の幹事も決まり再会を約束しました。欠席された方も次回はずいぶん出席してくださいね。 幹事一同
6期生の皆様には通信費14,400円の補助金を同窓会にご寄付頂きましたことお礼申し上げます。



7期 同期会

2月21日還暦を迎えて初めての同期会を憧れの「柊家」さんで行うことが出来ました。参加人数が63名と多かったので、2部屋に分かれましたが、次から次へと運ばれてくるお料理を頂きながら自己紹介をしていく内にあっという間に時は過ぎました。その後いくつもの由緒ある部屋を同期でもある女将さんに案内して頂きました。品格がありながら懐かしく温かく控えめで、町の真中にありながら静かで、しばし不思議な異空間に身を置くことが出来ました。次回は山陽地方の方の幹事も決まり、再会を約束し別れを惜しましました。

西村みち子（7E）



10期 35周年記念同期会

昨年10月24日（土）ホテルフジタ京都にて開催いたしました。26名（英語英文学科15名、生活文化学科11名）の集まりでしたが、今回は関西、関東地方在住者はもとより、わざわざイギリスのロンドンから来てくれた澤和子さんの存在が、ひときわ宴会を盛り上げてくれました。又前回の30周年記念同窓会とは参加者の顔ぶれがほとんど違ったというのも今回の特徴でした。もうすぐ私達は還暦を迎えるアラカン世代になってしまいましたが、いつまでも若さと健康を維持し、この先の同期会もいつも笑顔で再会したいと確認し合いながら楽しいひと時を過ごしました。



田摩博子（10E）

15期 30周年同期会

青葉が目にも鮮やかな5月30日、グランドプリンスホテル京都にて、同期会を開きました。東京、静岡、岡山など遠方よりの出席者も含め20名程が集まりました。当節メールという便利な通信手段があり日頃連絡を取り合っている、やはりお会いすると懐かしさも違って感じられました。タイムスリップしたように（少し大げさですが）学生時代の名前で呼び合い、ご主人の事、子供達の事、家の事など話題は尽きず、二時間という時はあっという間に過ぎてしまいました。今度お会いする時は、きっと孫の話も加わるのでしょうか。またの機会を楽しみに散会となりました。



石部和代（15E）

みちくさ会

「みちくさ会」は少しでも母校の発展に寄与し、同窓生の幸せに繋がればという思いで生まれた会です。

第2回「みちくさ会」を昨年11月15日ホテルグランヴィア大阪で藪内学長をお迎えして開催しました。学長はノートルダム新生にかけて、熱く語って下さいました。温かく、気さくなお人柄に接し、場が和み、様々な意見交換がなされ大変有意義な一時を過ごすことが出来ました。余興としてヴァイオリンとギターの演奏があり、より和やかな雰囲気となりました。参加者からは楽しかった、ノートルダムの卒業生で良かった等と嬉しいお便りをたくさん頂きました。今年は11月6日12時より同ホテルにて開催いたします。ご参加お待ちしております。



「みちくさ会」事務局 水谷訓子（4E）

Yesterday is history

Tomorrow is mystery

Today is a "gift"

That is why we call it the present.

原作者不詳

会員だより

オーストラリアからの便り

森口郁子 (3E)



南半球のオーストラリアでは、夏の初めに紫色のジャカラングの花が到る処に咲き誇って大変美しいです。釣鐘形の小さな花が散ると、辺りは紫色のカーペットを敷いたように見事です。

昨年2月のメルボルン郊外の山火事による大惨事から、早くも1年が経ちました。

ヴィクトリア州政府はあの悪夢の日を人々の心に刻む為に、2月7日を「Black Saturday」と名づけました。干ばつによる慢性的な水不足も続いており、現在ダムの貯水量は38%です。「シャワーは3分以内」など日常生活でも節水を求められています。

世界的な経済不況も、オーストラリアでは早くも「不況脱出」宣言が出されて、消費を刺激する為に政府から国民に給付金が出ました。私達夫婦も2人合わせてA\$1,800 (140,000円) 貰いました。

メルボルンに移り住んでもう15年になります。水不足の問題はありますが、緑豊かな広々とした環境で暮らせるオーストラリアの生活には、まだまだ捨てがたいものがあります。



サエコ・バレエ・カンパニー

山口恵子 (22C)

平成16年5月にクラシックバレエ教室(サエコ・バレエ・カンパニー)を開設しました。東京在住時に舞台上で使用していた(片岡紗英子)の名をそのまま教室名にしました。生徒数25名余りのまだまだ小さな教室ではございますが、おかげさまで6年目に入りました。これまでに二度の発表会を開催させて頂き、昨年9月の会には、ノートルダム女子大学の後輩となられる山口県出身の津守愛さん(平成22年3月卒業)にもご出演頂き、私が大学を卒業して早や24年余り、大変感慨深いものがございました。今後も色々な素晴らしい方々に出会える事を楽しみにして、バレエを指導する事が出来ればと願っております。



ホームカミングデー

寄宿生同窓会に出席して

神原恵子 (1E)

ND祭ホームカミングデーに寄宿生同窓会(現寄宿生との交歓会及び寄宿舎見学会)開催の連絡を受け、喜び勇んで出席しました。会場は第一回卒業式が行われた場所。卒業以来はじめて会う下級生も多く懐かしさで一杯。実行委員の計画がスムーズに進まないほど興奮のつぼと化しました。それでも寄宿舎見学は一気に学生時代に引き戻されるほど当時のままの所も多く、賑やかながらも整然と廻りました。



夕方、白沙村荘橋本関雪記念館で食事会があり約60名が出席。シスターセリーンの修道誓願50周年をお祝いしました。シスターから舎監ご就任当時の貴重なお話を伺い、驚くと共にとても身近に感じられました。当時の私達との距離感は今ではぐっと狭まり、“お姉様”のような存在でいらっしゃるようです。一泊の会があつという間に過ぎ、そのまま揃って寄宿舎に帰る? ような錯覚に陥りながらも、次回を楽しみに夫々の家路につきました。

アクティビティー案内

ク ラ ス	講 師	内 容	場所・日時	責任者
英 会 話	シスター モリーン	時事問題や個人的なことなどの自由討論や教科書を用いての時制の一致や変化など様々な応用問題の練習など	ユージニア館1階 同窓会室 第2・第4月曜日10:30~12:00	中田記美江(7E) 重松清子(2E)
書 道	寺田 九糸	漢字は三體(さんたい)千字文、かなは梅雪かな帖等をけいこする	マリアンハウス 第1・第3水曜日10:30~12:00	竹内ルリコ(17C)
フランス語	阿部 哲三	Paul Valéryの作品講読と機知に富むフランス語「格言」の構文完成並びに解説	ユージニア館1階 同窓会室 第1・第3火曜日10:00~12:30	吉良富美代(19C) 星山美香(19C)
マリアン コーラス	東 朝子	ストレッチ、発声練習で身体をほぐし、聖歌、季節や時の歌で心を豊かにする	ユニソン会館B1音楽練習室 第3木曜日 10:00~12:00	北澤みよ子(12C) 鶴田 倫代(19E)
英語で 書こう会	シスター セリン松本	身近にある簡単な言葉で、大抵のことは表現できるもの…。英語表現のコツを習います。	マリアンハウス 第4金曜日 10:30~12:00	青木由佳理(25E) 宮澤 紀恵(19E)
NDおあしす 京 都	シスター セリン松本	聖書の一節を読んで味わった後、心に残ることを自由に話し合います。互いの思いを受け止めあう場であり、それによって日常生活を新たに、自分を深める助けになります。	マリアンハウス 第4金曜日 13:00~15:00	芝山陽子(5E)
NDおあしす 中 部 支 部	シスター セリン松本	心豊かに、真摯に生きることの大切さを聖書から学ぶ	ロイヤルパークイン2階 第2金曜日 11:00~14:00	仙田悠美子(3E)
英語で 書く サークル	シスター セリン松本	日本語の発想から英語の発想へ。書くことによって少しでも身に付けられたら。 (参加費 1回 1,500円)	マリアンハウス 第2水曜日 10:30~12:00	宮井 順子(3E)
手 芸 ボ ラ ン テ ィ ア		手芸品製作・販売 あなたの作品・アイデアをお寄せください	マリアンハウス 第1・第3金曜日 10:30~15:00	小林 京子(17E)

※ 各クラス受講料は学期毎に1,500円(3回/学期)または2,500円(5回/学期)

※ 各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

日本文化研究会 22年度 年間予定

- 6月 8日(火)西本願寺
 9月 14日(火)河井寛治郎美術館(東山区五条)
 11月 9日(火)建仁寺 両足院
 (坐禅と精進料理体験)
 1月 25日(火)新年会
 3月 15日(火)京都の和菓子 老松 北野店
 (和菓子作り体験)
 ※登録会費 1年間 1,000円

世話役

藤 本 泉
 山 本 久美子
 西別府 満喜子
 宮 城 満 里
 井 関 郁 子



日本文化研究会新年会

日本文化研究会新年会は平成22年1月26日(火)京都ホテルオークラにて行なわれました。

講師に「京都がわかる」シリーズの著者で読売新聞、京都リビング新聞でおなじみの京都産業大学日本文化研究員上席特別研究員の小嶋一郎先生をお迎えして日本人になじみの深い七福神のお話を伺いました。

モニターを使って映像を交えながら、「七福神の中で唯一日本出身なのは誰？」などメンバーの出身や特技、変遷など知らなかった目からウロコのお話の数々に驚きの連続でした。最後は先生ご出題の七福神〇×式クイズ大会で優勝者には先生からのプレゼントという嬉しい場面もあり、お蔭様で大いに盛り上がり楽しい集いとなりました。同窓会会員のご協力が無事に来年に引き継げますことに感謝しております。



マリアンハウス運営委員会から

平成21年度 マリアンハウスチャリティーバザーと文化プログラムの報告

毎年恒例のチャリティーバザーが10月22日に開催されました。1階では手作り品、寄贈品の販売の他、手作りケーキとお茶等の喫茶コーナーも設け、この日の為にお集まり頂いた、シスター方、教職員、同窓生、ご近所の方々など、ゆっくりご歓談頂きました。2階では書道クラスの作品や、本多さんの写真、白井さん、服部さんの陶芸作品、杉崎さんのポーセリングなど力作ぞろいで、華やかな展示をさせて頂く事ができました。



また、東 朝子先生の指揮によるマリアンコーラスの合唱も素晴らしく、続く皆で歌った輪唱でも会場が一つになり、アンコールになりました。この様に、皆様の御協力で作り上げるアットホームなバザー企画の数々、本年度も変わらず、皆様の多数のご協力と御参加をお待ち申し上げます。

その他、マリアンハウスでは、年間を通して様々なプログラムで皆様と交流を深めています。20名前後という



平成21年6月「能へのいざない」



平成21年7月「折り紙講習」



平成21年11月「フラワーアレンジ」

人数で、家庭的な空間での活動であるが故、温かで穏やかな雰囲気を持ち、それが最大の魅力となっておりますと共に、どの企画も、新しい発見で皆様に喜んで頂ける事と思っています。

平成22年度 チャリティーバザー 10月21日(木)開催

寄贈品をお送り下さいますよう、お願い申し上げます。

平成22年度マリアンハウスプログラム

月 日	時 間	内 容
平成22年 6月23日(水)	10:30～12:30	日本茶の入れ方 講師：武村 龍男先生 日頃、飲んでいるお茶をちょっとグレードアップしてみませんか？夏に向けて水出し茶の入れ方も教えていただけます。
7月28日(水)	10:30～12:30	フラメンコ 講師：森野 弘子先生 スペイン仕込の先生のフラメンコを鑑賞した後、簡単なセビジャーナス(スペイン風フォークダンス)を皆さんで踊りましょう。
9月22日(水)	10:30～12:30	バザー作品作り
10月21日(木)	10:30～14:00	チャリティーバザー
11月24日(水)	10:30～12:30	アイシング・クッキー 講師：藤林 亜弥子先生 可愛いクリスマスのクッキーをアイシングで飾りましょう。
平成23年 3月23日(水)	10:30～12:30	スイーツの小箱 講師：前田 順子先生 樹脂粘土、ソフト粘土を使って本物そっくりのスイーツの小物入れを作ります。
4月27日(水)	10:30～12:30	コラージュ(心理学より) 講師：中小路 理恵先生 雑誌を切り貼りして自分を再発見してみませんか？

* 諸般の事情により日程の変更があります。お問い合わせはマリアンハウスまで。

* 上記への申し込み、ご意見、ご希望などをお待ちしております。

マリアンハウススタッフ

西岡由美子(12E) 國澤 裕子(12C) 山田 恵子(12E) 辻 文江(12E)
森本 純子(14E) 北谷貴代子(23C) 稲田 蘭貴(23C) 瀧井 優子(23C)
北村香代子(23E)

寄贈品送り先・その他の連絡先
マリアンハウス 月・水・金 10:00～15:00
TEL&Fax: 075-701-9149

ボランティア人材登録のお願い！

同窓生の皆様 あなたの力を母校のために役立てましょう。

年齢を超えて、同じ学び舎を巣立った同窓生と分かち合えたら……また何か母校のお役に立てたら……同じ希望をお持ちの方がおいででしょう。お互いに情報を交換して、相互の協力と母校や学生の要望に応じて必要な時にお手伝い出来るよう、得意な分野、出来ることをお知らせ下さい。またご紹介下さい。

例えば、着物の着付け、礼法、茶道、生け花、手芸、英会話、他外国語、京都ガイド、コンピューター技術、お料理、ホームステイ、など……

総会出欠返信葉書にご記入下さい。もしくは氏名・卒期・住所・電話/ファックス・Eメールアドレス・得意分野を明記して、Eメールまたは、ファックス、郵送でマリアンハウスまでご連絡下さい。

「マリアンハウスに宿泊して」

岩田真実（44E）

7人で宿泊したい、たこ焼きパーティーがしたい、サプライズ誕生日会がしたい、夜遅くまでおしゃべりしたい、そして、低価格がいい。そんなわがまを叶えてくれた場所、それがマリアンハウスでした。私たちは実家暮らしなので、気軽にお泊りができません。最近は低価格なホテルも増えてきていますが、なかなか7人一部屋という宿泊施設はないものです。さらに、自分達で調理もできる所はめったにありません。所在地が岩倉なので、少々交通の不便さがありました。しかし、7人でも充分ゆっくり過ごすことができ、思い出が増えたと皆喜んでいました。また、機会があれば利用したいと思います。



辻林依里（41E）



10月11日から一泊でマリアンハウスに宿泊しました。仲良し6人グループで集まるのは卒業以来で実に5年ぶり！6人全員揃うことが出来てとても嬉しかったです。皆現在住んでいる所もバラバラ（横浜の子もいれば沖縄在住の子も）で、普段中々会うことが出来ないのもとても懐かしく、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

マリアンハウスは想像していた以上にとてもきれいで居心地の良い所でした。外観はステンドグラスの入った窓がお洒落なお家。一歩中に入るとマリア像が私達を迎えてくれます。広くて綺麗なキッチンでお茶を入れてそれぞれの近況を報告しあい、時間はあっという間に過ぎていきました。会うのは5年ぶりだけれど皆全然変わってなくて安心しました。大学の頃に帰ったような気持ちで思い出話に花を咲かせ、気がつけばもう夜。セキュリティもしっかりしているので女性6人でも安心して過ごすことが出来ました。夜は二階で布団を並べて就寝。長旅で疲れていたのか（年なのか？）皆朝まで熟睡でした。

翌日は京都駅でランチをし、次はまた5年後にマリアンハウスに集まりたいねと話しながら別れました。とても充実した一泊旅行でした。これからの自分達の恒例行事にしていくことができれば素敵だなと思っています。

マリアンハウス内部の紹介



玄関正面

一階多目的ホール

台所

吹抜け天井

二階和室

二階洋室

大学便り

2011 年、京都ノートルダム女子大学は創立 50 周年を迎えます。

カトリックの教えと建学の精神である「徳と知」を踏まえ、伝統に基づいた魅力ある女子大学にふさわしい教育・研究環境を整えるために、北山キャンパス総合整備計画を進めています。快適な新しい学生寮もキャンパス内に誕生する予定です。



京都ノートルダム女子大学では、同窓生の皆様にご参加いただける様々なイベントや公開講座を開催しております。皆様のご参加をお待ちしております。

平成 22 年度行事予定

- 10 月 30 日(土)ND 祭(オープンキャンパス同時開催)
- 10 月 31 日(日)ND 祭・ホームカミングデー
(オープンキャンパス同時開催)
- 11 月 19 日(金)物故者追悼ミサ
- 12 月 17 日(金)ノートルダムクリスマス
- 3 月 12 日(土)卒業式



卒業年度毎(平成 22 年度は 20 期、21 期、22 期)に同窓生の皆様に卒業式にお招きしております。巣立ち行く後輩を在校生、教職員とともに祝福していただけたら幸いです。式典終了後には昼食をご用意しておりますので、懐かしいご学友との楽しいひとときをお過ごしください。

☆ 公開講座につきましては、随時大学公式ホームページでお知らせいたします。

京都ノートルダム女子大学公式ホームページ <http://www.notredame.ac.jp/>

平成 22 年度オープンキャンパス日程

4 月 4 日(日)、5 月 30 日(日)、6 月 20 日(日)、7 月 19 日(月・祝)、8 月 7 日(土)、8 月 8 日(日)、8 月 22 日(日)、9 月 26 日(日)、10 月 30 日(土)、10 月 31 日(日)

学部学科説明、在学生によるキャンパスツアー、模擬授業、ランチ体験、クラブ発表など様々な内容で大学をご紹介します。保護者の方のご参加も歓迎しております。実施日によって内容が変わりますので、詳細はホームページにてご確認ください。



問い合わせ先

平成 22 年度行事関係

大学総務課 TEL 075-781-1173 E-mail general@notredame.ac.jp

平成 22 年度公開講座・オープンキャンパス関係

大学広報課 TEL 075-706-3659 E-mail information@notredame.ac.jp

京都ノートルダム女子大学公式ホームページ <http://www.notredame.ac.jp/>

人間文化学部 英語英文学科



■英語教材・ガイドブック作成ゼミ

担当：人間文化学部英語英文学科 橘堂 弘文教授

すべての工程を学生が手掛け、オリジナルの英語教材などを作成。

小学校・中学校・高校のオリジナル英語教材や、観光・ホームステイ・留学などのガイドブックづくりに挑戦。自分のやりたいテーマを決め、個人もしくはグループに分かれて製作を進めます。テーマ設定から全体の構成、英語の文章、パソコンを使ってのレイアウト、イラストや写真まで、そのすべてを学生が担当。完成作品は、卒業後に英語教育の現場で教材として使えるほか、就職活動時の自己アピールにも活用しています。

英語英文学科 TOPICS

平成 21 年度文部科学省「学生支援推進プログラム(GP)」に採択

英語英文学科が推進する「キャリア形成データベースを利用した社会人基礎力養成プログラム」が文部科学省「学生支援推進プログラム(GP)」に採択されました(期間：平成 21 年度～平成 23 年度)。このプログラムでは、各学生の社会人基礎力の評価をポートフォリオ(就職カルテ)として蓄積し、同時に過去の就職実績と最新の就職情報を収集・分析して「キャリアデータベース」を構築します。学生一人ひとりに最適な進路指導を行い、これを通じて社会人基礎力・学力の養成を行うもので、各学生の希望業種への就職率の大幅な向上が期待されます。



生活福祉 文化学部



■精神保健福祉ゼミ

担当：生活福祉文化学部 佐藤 純 准教授

障がいのある方とのふれあいを通じて、福祉現場の実際を体感する。

「活動すること」をテーマのひとつに掲げ、積極的に教室の外にも飛び出し、福祉施設利用者や福祉施設の職員の方々と共同で活動したり、精神に障がいのある市民への支援活動を行う「左京区こころのふれあいネットワーク」の企画に参加するといった活動を通じて福祉の現場を体感します。また卒論作成時には障がいのある方や家族の方々へのインタビューを課題に設定するなど福祉現場の実際を学びます。

生活福祉文化学部 TOPICS

多彩な学びができるフィールド・ユニット制を導入

生活福祉文化学部では、ファッション、フード、インテリア、建築、健康といったライフデザイン領域と、社会福祉や精神保健福祉といったソーシャルワーク領域、保育士養成など、専門的な学びが充実しています。多くの専門科目の中から、自分の興味のある科目や取得したい資格に合わせて、専門領域を超えて自由に科目を選択することが可能です。この専門的かつ多様な学びをサポートするためにカリキュラムを大きくフィールド(専門分野)に分け、さらに関連科目を配置したユニット(科目群)に区分して効率よく自分のオリジナリティーのある学びを見つけることができるよう提案しています。



人間文化学部 人間文化学科



■日本文化ゼミ

担当：人間文化学部人間文化学科 長沼 光彦 准教授

小説からアニメ、映画まで幅広い分野から日本文化を追究。

小説や詩などの日本文学を中心に、幅広く日本の風俗、習慣をテーマに研究を進める日本文化ゼミ。マンガやアニメ、ドラマ、映画といった題材も研究対象となりますが、単に「おもしろい」という感想に終わるのではなく、客観的にそのおもしろさの要因を分析するとともに、作品の社会的、歴史的背景や意義などについても考察し、ゼミで発表することにより、分析した結果を論理的に相手に伝える力を育みます。

人間文化学科 TOPICS

「集める」「出かける」「残す」「伝える」をキーワードに文化を学ぶ

人間文化学科では、日本語と日本文化、欧米、アジア、中東など多様な文化との交流およびその芸術表現、そして文化を残し伝える出版や図書館、インターネットなどの情報文化の、多種多様な科目を選択する自由度を上げた「フレキシブル単位ゾーン」を設けるとともに、「集める」(資料収集)、「出かける」(実地調査)、「残す」(整理保存)、「伝える」(表現伝達)の4つのプロセスを繰り返し実践することにより文化を学ぶ力を身につけるカリキュラム構成が特色です。



心理学部



■犯罪心理学ゼミ

担当：心理学部 藤川 洋子 教授

元家庭裁判所調査官の先生のもと、幅広く臨床心理学にアプローチ。

家庭裁判所調査官として少年事件の調査に携わってきた藤川先生のゼミでは、犯罪心理学を中心に、幅広く臨床心理学の領域を研究。まずは文献を読み、内容をまとめて発表するという作業を通じて論理的に文章を書く力を養うとともに自分の興味のあるテーマを探ります。年に一度、児童自立支援施設で、施設に入所している子どもたちと陶芸やスポーツで交流し、現場を体感。心理学実験や質問紙調査を利用して各自のテーマで研究を進めます。

心理学部 TOPICS

実践的に心理学を学び、資格取得をめざす

心理学部では、学生が実践的に学ぶことができるよう、初級実験実習、心理検査法実習、中級実験実習、臨床相談実習といった授業では、少人数のグループに分かれて実習を行い、教員と学生が近い距離でコミュニケーションをとりながら心理学の理論と方法を学びます。丁寧な指導ときめ細かいサポートにより、問題意識を明確化し客観的な視点で問題解決、表現する力を身につけます。これらの実習科目は、「認定心理士」資格取得に関するもので、授業や実験設備の充実が本学の資格取得者数の多さ(毎年 80 名～90 名程度)にもつながっています。



思い出のページ

シリーズその2



薫り高き学士誕生

初代同窓会顧問・本学名誉教授 シスターセリン松本

伝統もなければ、校舎内の設備も最小限のものだけしかない大学、今から思えば、ノートルダム女子大学の開学当初は、物質的なものは十分でない草分け時代でしたが、精神的には豊かな時だったと思います。教職員、学生をあげて「自分たちの手でノートルダム女子大を作り上げ、育てるのだ」という意気込みと希望にもえて、皆が一致団結しながら同じ目的に向かっていました。みんなで大学の将来を夢みながら、日々、創造と新しい体験の喜びを共有していました。

5月にはマリアの戴冠式、10月には生きたロザリオの祈り、11月には黙想会など、精神的な恵みを得るための行事がありました。また、クリスマスには教職員と学生との共演でタブローをするという和気藹々の一場面があり、小規模な大学だからこそ経験できた楽しい集まりでした。クラブ活動は課外の学び場で、琴、能、茶道などの伝統芸能をその道の方々から直接にたしなむ恩恵に浴することが出来ました。シェクスピア劇を英語で立派に演じたり、他大学の男子学生と対等で英語のディベートをするなど、草創期の学生は何事をするにも誇るに価する成果をあげていました。

充実した4年の歳月は瞬く間に過ぎ、1965年3月11日、第二木曜日、第一期生は社会へ一步を踏み出す日を迎えました。その時の『読売新聞』は「京の学生」という欄にノートルダム女子大学の卒業式取材して次のような記事を書いています。「黒のガウンに房つきのキャップ、薄化粧のほおを緊張にややこわばらせ

て一人一人学長シスター・メリー・ユーニアの前に進む。学長はラテン語と日本語で書かれたブック型のディプロマ（卒業証書）、それに裏地が白のフードを渡す。左にたらしえていたキャップの房を右にかえると、ここノートルダム女子大の第一回バチェラー・オブ・アーツ（文学士）が誕生。昭和40年3月11日、最初の卒業生を送り出した女子大の証書授与の瞬間である」と。更に続けて、「昭和23年に始まる学制改革によって女子学生が男子校に進出している…こうした中で男女共学の“アラシ”に逆らって…ここには共学の女子学生には見られない薫り高い“誇り”がある」と述べています。時の流れと共に、124名の少人数で開学した大学の歴史は、今やその100倍を超える卒業生を社会へ送り出して未来へと向かっています。

当時、卒業式の前に卒業週間という一連の行事があり、学生生活の最後を学び舎で名残りを惜しみながら過ごしました。前の週の金曜、土曜には、卒業する全員が式の練習をしました。翌月曜には、在學生は卒業生の前途を祝してバラを、卒業生は後輩に伝統を譲り渡す意味でローソクをと、「愛と光」を交換する式があり、火曜日には、保護者と共に卒業生は晩餐会に招かれました。水曜日は準備の為中休み、そして盛大で厳粛な卒業式が木曜日の午後に挙行されました。それ以来、卒業式は3月の第二週木曜日に挙行することが慣例となったのです。（次号に続く）

NDおあしす

一泊憩いの集いの案内

この一泊憩いの集いはノートルダムの絆を確認する出会いと再会の時です。参加者は「色々悩むのは自分だけかと思って参加したが、互いの話を聴いているうちに共感し、自分だけではないのだと、思いなおし支えあい励ましあう機会となった。心のもち方が変わり、もやもやが晴れ、安らぎと明日へのエネルギーを回復することが出来た。琵琶湖の素晴らしい眺めをみて、心が和み、水で洗われるような恵みのひと時だった」と感想を述べています。日常の雑事を離れて参加してみませんか。お友達を誘ってお気軽にお越し下さい。

日時：① 7月19日（月）18時～20日（火）16時

② 11月15日（月）18時～16日（火）16時

場所：ノートルダム 唐崎 修道院

定員：各15名（個室）先着順

献金：¥6,000（一泊 三食代を含む寄付）

参加ご希望の方は、次のいずれかの方法でご一報ください。
ご連絡下さった方には、後日、詳細をお送りします。

〒520-0106 大津市唐崎一丁目3-1ノートルダム修道院 Sr.セリン 松本

Tel: 077-579-2884 077-579-2937

Fax: 077-579-3804

Mail: celine-matsu@mbp.nifty.com（件名：NDおあしす）

2010 年度

第 46 回総会のお知らせ

日 時：平成 22 年 5 月 30 日(日) 午前 11 時 30 分(受付 11 時 00 分～)

場 所：グランドプリンスホテル京都「ロイヤルルーム」

(旧 京都宝ヶ池プリンスホテル) Tel 075-712-1111

地下鉄「国際会館」下車

会 費：6,000 円 子供(小学 6 年生以下)1,500 円

エンターテインメント「講演会」ドラ・トーザン

☆ 欠席の場合でも返信ハガキを投函下さい。

今年の総会のエンターテインメントは世界との距離が近くなった今に相応しい国際ジャーナリスト、ドラ・トーザンさんに講演をお願いしました。東京・神楽坂在住の彼女は生粋のパリジェンヌで、「日仏の架け橋」として様々な活動をしています。我々の眼に映るパリジェンヌの「おしゃれで自分らしい生き方」を本人から聴くことで、我々にとっても豊かな感性と教養を身につけ充実した人生を送る参考にしたいと思います。

皆様のご出席をお待ちしています。

16期生学年委員 多羅晶子 若森美加



Profil de Dora TAUZIN (ドラ・トーザン プロフィール)

国際ジャーナリスト。エッセイスト。ソルボンヌ大学応用外国語修士号取得後、パリ政治学院を成績優秀者の認定を受けて卒業。

仏語の他、英語、独語、伊語、日本語の5カ国語を話し、海外での生活経験豊かな国際人。国連広報部勤務後、NHKテレビ「フランス語会話」への出演を機に日本に住む。慶応義塾大学講師を経て、東京日仏学院、アカデミー・デュ・ヴァンなどで講師を務めながら、日本とフランスの架け橋として、新聞や雑誌への執筆、講演、イベントでの司会など各方面で活躍中。

朝日新聞にて「Doraのドラ猫ボンジュール」(07-08年)、東京新聞にて「本音のコラム」(09年)、プラチナサライにて「ドラ・トーザンのプレミアムな逸品」(09年)連載。

著書として「願いを叶えるDoraのドラ猫」(青萌堂)「パリジェンヌ流おしゃれな自分革命」(飛鳥新社)「パリジェンヌのパリ20区散歩」(ポプラ社)などその他多数。

文化庁「文化発信戦略に関する懇親会」委員。文化庁より長官表彰(文化発信部門)。

21期25周年同期会のお知らせ

日 時：2010 年 5 月 29 日(土)18:00～

場 所：Sala Suite Caffè Rucola(ルーコラ)

四条室町下ル池坊短期大学 B1F

会 費：6,000 円 幹 事：森澤祥子(梶田)・岸本明子

11期35周年同期会

世話人 太田美由紀・峯松伴美

予定は未定ですが、「還暦お祝い同期会を開催する予定」です。

予告 第 47 回総会は平成 23 年 5 月 22 日(日)です。

祝周年学年の皆様

節目の年をお迎えになりおめでとうございます。総会でバラの花が贈呈されます。ぜひご出席下さい。

45 周年	1 期
40 周年	6 期
35 周年	11 期
30 周年	16 期
25 周年	21 期
20 周年	26 期
15 周年	31 期

編集後記

原稿をお寄せ下さいました皆様、大変有難うございました。

大学より2ページに亘って情報を提供していただきました。1学部2学科から始まった大学が3学部4学科に成長しています。世の中の変化に対応しつつ、今も昔も変わらない「ノートルダム精神」を育み、この時代に必要とされる人材を育成する母校であり続けてほしいと願います。

今の時代だからこそ「ノートルダムファミリー」としての絆を強くし、日本国内のみならず世界に住む同窓生が「マリアン」を通じて年齢を超えて交流の輪を広げ、更に学びの機会となりますよう、広く情報発信できるような会報構成に努めたいと存じます。どうぞ皆様情報を、またご意見ご提案をお寄せ下さい。

広報担当 家村悦子(4E) 滝田洋子(17E)

同窓会設立：1965年6月27日

現在会員数：1万2千6百余名

支 部：関東、中部

地 区：中国・四国、北陸、和歌山、九州・沖縄、山陽、山陰

☆ 同窓会活動情報は同窓会ホームページで！

検索：京都ノートルダム女子大学同窓会

または大学公式ホームページ：<http://www.notredame.ac.jp/> から

☆ ‘大学の今’は大学報 *Renouveau* で！

年間3回発行され、大学の公式ホームページでご覧になれます。



The Spirit of God

マリアンハウス

京都ノートルダム女子大学同窓会館



マリアンハウス 使用料	1F ホール	3,000円
	2F・和室(8畳)	1,500円
	・和室(6畳)	1,500円
	・洋室(6畳)	1,500円
	使用時間：10:00～15:00 冷暖房、台所使用可。	
宿 泊	1泊1人	2,500円(2名より10名まで)
	チェックイン：15:00～17:00 チェックアウト：10:00迄 キャンセル：5日前までに以後は 50%のキャンセル料 冷暖房、台所、浴室使用可。	

■開館曜日・時間／月・水・金 10:00～15:00
(但し、上記以外でも相談の上、使用可。)

■年間休館日／●夏休み 8/1～8/31
●冬休み 12/20～1/10

ホームページ <http://www.notredame.ac.jp/>

京都ノートルダム女子大学 同窓会会報 マリアン vol.40

2010年4月1日発行 発行／京都ノートルダム女子大学 同窓会 〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町628
TEL・FAX.075-701-9149 E-mail: nd.marian-hs@jeans.ocn.ne.jp

印刷／ミナトメイワ印刷株式会社